

相談室便り

スクールカウンセラー 達富郁夫

〈きもち①〉

〈きもち〉は、わたしたちに教えてくれる……。

いま、なにがおこっているのか、

なにがほしいのか、

なにが大切なのか。

うれしい

幸せ

いいきもち

ふつう

まあまあ

ゆううつ

悲しい

怒ってる



きもちって心をはかる温度計みたい。

(パットパルマー著「自分を好きになる本」より)

何が見えるかな？

右の絵には、夏らしいカタカナ 4 文字の言葉が入っています。

さて、それは何でしょう？

〈前回の解答〉

下の絵の部分に 3 つ三角形がありました。



傘の部分の三角形は柄の部分で切れているので違います。わかったかな？



素直に『謝れる』環境について

保護者の皆さんや先生方からのご相談の中に、「子どもがすぐにわかる嘘をつくんです…。」なんて相談を受けることがあります。確かに『嘘をつく』ということに対するイメージって良くはないですね。でも、お話を伺っていくと『子ども自身が嘘をつかなければならなかったんだな…』と思えることもよくあります。

どういうことかという、前回の『褒める』ということにもつながっているのですが、子どもの心の中では、大人からは褒められたいし、怒られたくないし、できなければならないし…といった心理が働いているんです。そうすると、何とかしてその場を取り繕うために『嘘をつく』といったことにつながってくるんです。

素直に言って怒られて学ばないじゃないかと大人は思うかもしれませんが、しかし、大人が思っている以上に子どもは自分の精神的な居場所のなさを感じています。ですから、自分の感じている『認められ感』を少しでも失わないためにも、怒られてはならないし、何よりも大人から褒められたり、認められなければならないんです。

大人の立場を考えると、大人は日々いろいろなことに追われています。仕事や家事、その中で大人の人間関係等々…。時間に追われ、精神的に追い込まれています。ですから『子どもはこういう風にする！』といったルール規範や枠組みといったものを定めて、それに従って子どもが行動すれば、大人の負担が減ると考えてしまいます。しかしながら、子どもの立場からすれば、子ども自身が嫌でもその決められた枠組みを守ることしか大人に認められないと考えてしまいますし、失敗した上で学ぶなんてことは知らないし考えられないことなんです。

もし、子どもの『嘘をつく』ことや何らかの問題行動がなかなかおさまらないときは、『大人の定めた枠組みだけで縛られていないか？』ということを考えなおしてみてください。そして、間違ったときや失敗した時には、素直に『謝る』ということを教えること。つまりは大人の決めた枠組みに、ちゃんと抜け道を作って『謝れる』環境を整えることが、結果として子どもの成長につながるのではないのでしょうか。

7・9月の来校予定日

- 7月 7日(水曜日) 10時～13時(吉舎中) 13時45分～16時45分(八幡小)
- 7月14日(水曜日) 10時～13時(吉舎中) 13時45分～16時45分(八幡小)
- 7月28日(水曜日) 13時45分～16時45分(吉舎中)
- 9月 1日(水曜日) 10時～13時(吉舎中) 13時45分～16時45分(八幡小)
- 9月 8日(水曜日) 10時～13時(吉舎中) 13時45分～16時45分(吉舎小)
- 9月15日(水曜日) 10時～16時45分(吉舎中)
- 9月22日(水曜日) 10時～13時(吉舎中) 13時45分～16時45分(八幡小)
- 9月29日(水曜日) 10時～13時(吉舎中) 13時45分～16時45分(吉舎小)

相談には予約が必要です。相談のご希望がありましたら、各学校までご連絡の上、予約して頂きますよう、よろしくお願い致します。

(吉舎中学校；0824-43-2115)

(吉舎小学校；0824-43-2580)

(八幡小学校；0824-43-2026)

